

平成 2 4 年度循環型社会形成推進地域計画目標達成状況報告書

地域名	構成市町村等名	計画期間	事業実施期間
湘南東地域	藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町	平成 1 9 ～ 2 3 年度	平成 1 9 年度～ 2 3 年度

1 目標の達成状況  
(ごみ処理)

指 標	現状 (割合※ 1) (平成17年度)	目標 (割合※ 1) (平成24年度) A	実績 (割合※ 1) (平成24年度) B	実績B /目標A	
排出量	事業系 総排出量	47,904 t	27,494 t (-42.6%)	48,531 t ( 1.3%)	176.5%
	1 事業所当たりの排出量	2.4 t	1.4 t (-41.7%)	2.3 t (-4.2%)	164.3%
	家庭系 総排出量	168,917 t	162,764 t (-3.6%)	153,844 t (-8.9%)	94.5%
	1 人当たりの排出量	251 kg/人	233 kg/人 (-7.2%)	219 kg/人 (-12.7%)	94.0%
合 計 事業系家庭系総排出量合計	216,821 t	190,258 t (-12.3%)	202,375 t (-6.7%)	106.4%	
再生利用量	直接資源化量	11,533 t (5.3%)	12,809 t ( 6.7%)	12,436 t ( 6.1%)※2	97.1%
	総資源化量	61,349 t (25.3%)	78,497 t ( 35.1%)	66,435 t ( 29.4%)※2	84.6%
熱回収量	熱回収量 (年間の発電電力量)	25,758 MWh	29,504 MWh	39,826 MWh	135.0%
減量化量	中間処理による減量化量	166,998 t (77.0%)	135,666 t ( 71.3%)	140,097 t ( 69.2%)	103.3%
最終処分量	埋立最終処分量	14,272 t (6.6%)	9,438 t ( 5.0%)	10,290 t ( 5.1%)	109.0%

※ 1 排出量は現状に対する割合、その他の指標は排出量に対する割合

※ 2 再生利用量の母数は集団回収を含む排出量  
(生活排水処理)

指 標	現 状 (平成17年度)	目 標 (平成24年度) A	実 績 (平成24年度) B	実績B /目標A	
総人口	671,888人	698,948人	704,403人	—	
公共下水道	汚水衛生処理人口	593,861人	642,995人	648,905人	100.9%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	88.4%	92.0%	92.1%	100.1%
集落排水施設等	汚水衛生処理人口	0人	0人	0人	0%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	0%	0%	0.0%	0%
合併処理浄化槽等	汚水衛生処理人口	9,573人	13,992人	10,383人	74.2%
	汚水衛生処理率又は汚水処理人口普及率	1.4%	2.0%	1.5%	75.0%
未処理人口	汚水衛生未処理人口	68,454人	41,961人	45,115人	107.5%

## 2 各施策の実施状況

施策種別	事業番号	施策の名称等	実施主体	施策の概要	事業実施期間 (事業計画期間)	施策の実績
発生抑制、再使用の推進に関するもの	1 1	指定袋制の導入による有料化	藤沢市	排出抑制、排出量に応じた負担の公平化のため、可燃ごみ・不燃ごみを指定袋制により有料化する。	H19～H23 (H19～H23)	平成19年度より有料化を実施
	1 2	料金改定	構成市町	排出抑制、排出者負担の原則の継続を図り、直接搬入ごみ及び事業系ごみの料金改定を図る。	H19～H23 (H19～H23)	藤沢市では平成19年度に、茅ヶ崎市と寒川町では平成20年度に料金改定実施。
	1 3	環境フェア開催、施設見学	構成市町	環境フェアの開催や、学校や地域での環境学習、施設見学会等を継続する。	H19～H23 (H19～H23)	計画どおり実施。
	1 4	マイバッグ運動	構成市町	レジ袋削減するため、マイバッグ運動の推進に努める。	H19～H23 (H19～H23)	計画どおり実施。
	1 5	エコショップ等	構成市町	ごみ減量やリサイクルを推進している店を認定する制度の推進	H19～H23 (H19～H23)	計画どおり実施。
処理体制の構築、変更に関するもの	2 1	分別資源の追加	藤沢市	循環型社会形成推進に資する廃食用油の分別	H19～H23 (H19～H23)	平成19年度より廃食用油と剪定枝、平成23年度より商品プラスチックの分別収集を実施
	2 2	分別資源の追加	茅ヶ崎市	循環型社会形成推進のためのリサイクルセンター整備に伴う廃食用油、容器包装プラスチックの分別	H22～H23 (H22～H23)	平成23年度に廃食用油、容器包装プラスチック分別回収のモデル事業実施。市内全域での本格実施は平成24年度より実施。
	2 3	分別資源の変更	茅ヶ崎市	循環型社会形成推進のためのリサイクルセンター整備に伴う分別資源の変更（ビン、缶）	H22～H23 (H22～H23)	平成23年度より市内全域でビン・缶のコンテナ・ネットによる分別回収を実施。

処理施設の整備に関するもの	1	(仮称) 藤沢地域リサイクルセンター施設整備	藤沢市	(仮称) 藤沢地域リサイクルセンター施設整備	H22～H23 (H22～H24)	計画どおり実施。平成25年12月竣工予定。
	2	(仮称) 茅ヶ崎市・寒川地域リサイクルセンター施設整備	茅ヶ崎市 寒川町	(仮称) 茅ヶ崎市・寒川地域リサイクルセンター施設整備	H21～H23 (H21～H23)	計画どおり実施。(平成24年3月施設竣工)
	3	浄化槽設置整備事業	藤沢市 茅ヶ崎市	浄化槽の設置整備費補助	H19～H23 (H19～H23)	おおむね計画どおり実施。 実績基数は以下のとおり。 (藤沢市) H19:39基 H20:26基 H21:20基 H22:24基 H23:29基 (茅ヶ崎市) H19:51基 H20:42基 H21:41基 H22:34基 H23:43基
施設整備に係る計画支援に関するもの	3 1	1の計画支援	藤沢市	測量、地質調査、生活環境影響調査、施設整備基本設計、PFIアドバイザリー業務	H19～H22 (H19～H22)	計画どおり実施。
	3 2	2の計画支援	茅ヶ崎市 寒川町	測量、地質調査、生活環境影響調査、施設整備基本設計	H20～H21 (H20～H21)	計画どおり実施。
その他	4 1	廃家電のリサイクルに関する普及啓発	構成市町	ごみカレンダーへの掲載や関連団体・小売店などの協力による普及啓発の継続	H19～H23 (H19～H23)	計画どおり実施。
	4 2	不法投棄対策	構成市町	夜間パトロールの実施やライトの設置、地元自治会等と連携による不法投棄防止の取り組みの継続	H19～H23 (H19～H23)	計画どおり実施。
	4 3	災害時の廃棄物処理	構成市町	湘南東地域で災害時の対策についての協議をし、体制を構築する。	H19～H23 (H19～H23)	計画に基づき検討。

### 3 目標の達成状況に関する評価

藤沢市、茅ヶ崎市、寒川町の湘南東ブロックは循環型社会形成推進をめざし、3R推進を行い、減量化・資源化を図るとともに、広域的かつ総合的に適正な処理施設を整備してきました。

#### (ごみ処理)

家庭系ごみについては各市町における分別資源の変更や藤沢市域における有料袋制などを実施した事により、家庭系総排出量については平成17年度実績と比較し約9%減少、1人当たりの排出量についても約13%減少と目標を上回る結果となっています。一方、事業系ごみについては1事業所当たりの排出量が平成17年度実績と比較し、2.4tから2.3tに減少しているものの、事業系総排出量が1.3%増加となっており、目標を達成できておりません。これは、事業系廃棄物の排出量については、大規模開発による大型店舗等の開業と事業系食品残渣を資源化する民間施設の廃業等が主な原因と考えております。なお、事業系家庭系総排出量としては平成17年度実績と比較し、6.7%減少となっています。

熱回収量については高効率発電施設を設置したため、目標を達成しております。

減量化量及び最終処分量については平成17年度実績と比較し減少しているものの、事業系総排出量が増加したため、達成ができておりません。

このような結果より、平成20年3月に策定した湘南東ブロックごみ処理広域化実施計画を平成23年度に改定し、目標を修正するとともに、各市町にて減量化・資源化に係る取り組みを実施していく事としています。

#### (生活排水処理)

下水道整備地区においては下水道への転換推進、下水道認可区域外においては合併処理浄化槽の普及拡大を実施しており、概ね目標は達成できたと考えています。

#### (都道府県知事の所見)

ごみ処理については、地域計画期間内（平成19年度～平成23年度）において、分別収集の品目の追加や排出者の負担料金改定などを計画どおり実施し、資源循環や廃棄物の排出抑制につながる施策を実施した。

家庭系廃棄物の総排出量などについては、168,917t（平成17年度）から153,844t（平成24年度）と大きく減少し、目標を達成している。一方、事業系の排出量については、47,904t（平成17年度）のところ48,531t（平成24年度）と、平成17年度と比べて増加した。この数値は目標から程遠く、減量化量等にも大きく影響している。そのため、別途改善計画を立て、今後は改善計画をもとに、目標の達成に努められたい。

浄化槽設置基数については、着実に増加しており、循環型社会形成推進交付金の十分な活用により、生活排水処理の改善に寄与したと考える。今後も神奈川県生活排水処理施設整備構想を踏まえて、積極的に浄化槽等の設置を図られたい。